

海軍公報附錄

大正十一年十二月五日(火)
海軍大臣官房

○雜款

○圖書

去ル十一月申納庫セル圖書左ノ如シ(海軍省文庫)

和漢書ノ部

第一門 海陸軍事

大正十年海軍小演習寫眞帖
大正十一年海軍小演習誌慶部編 大正一一

水路里程表 水路部編 大正一一

海軍用語 機關術之部、海軍教育本部編 大正一一

第二門 法律、政治、經濟、社會

新帝國憲法 上杉慎吉著(七三〇頁) 大正一一

家康遠逝 德川政道 安部正人編(二〇七頁) 明治三六

三舟補述 華府會議諸條約及諸決議 外務省條約局編 大正一一

條約公布ノ時期形式等ニ關スル制度調査 雜八六三

支那經濟綜攬 西川登二著(六〇〇頁) 大正一一

支那哈爾濱及經濟事情 南洋洲鐵道株式會社編(三二八頁)
伯都訥地方(滿洲調查資料九編) 大正一一 雜八六〇

海軍公報 附錄

會計法規講演集 內務大臣官房會計課編(九五頁) 大正一一 雜八六六

各國社會黨及勞動黨ノ研究 外務省歐米局編(合冊) 大正一一 雜八六七

第一卷 獨逸ノ社會黨

第二卷 獨逸獨立社會黨ノ分裂

第三卷 獨逸ニ於ケル共產主義運動ノ發展

第四卷 米國ノ勞動黨及社會黨

第五卷 英國勞動黨ノ歴史的研究

第六卷 英國最近ニ於ケル社會主義團體

第三門 歷史、傳記

歐米新聞界の秘事及日本の新聞紙 船尾榮太郎著(二九〇頁) 大正一一 三六三

國民乃日本史 第四編 鎌倉時代前編 中嶋孤鶴著(四四三頁) 大正一一 三六三

沈勇なる佐久間大尉 福井縣八村教育會編(一一七頁) 大正一一 三九七

近代歐支關係の研究 沿黑龍地方ノ部 南洋鐵道株式會社編(四〇〇頁) 大正一一(調査報告第十七卷) 雜八六五

第四門 地誌、紀行

各地方ニ登山ニ適スル山嶽並海水浴場水泳場ニ關ル概況 於ケル 內務省衛生局編(一四四頁) 大正一一 雜八四六

隨筆私記 見玉愛二郎謹記(六〇頁) 明治二六 雜八六二

0643

第五門 哲學、教育

老子講義 佐藤牧山著(四〇六頁) 大正一一 三六五
 學制五十年史 文部省編(四六七頁) 大正一一 三六七

第六門 理學、醫學

相對性理論の諸斷面 石原純著(一七頁) 大正一一 三六〇
 (相對性理論の諸斷面第一輯)
 空間及時間概念 石原純著(二八五頁) 大正一一 三六六
 (相對性理論の諸斷面第二輯)
 海員患者年報 (大正九年) 日本海員救済會編 大正一一 三六八

第八門 産業

關領胡椒の生産と市場 臺灣總督官房調査課編(五〇頁) 雜六六
 東印度(南支那及南洋調查第六十三號) 大正一一 雜六六
 陸上及空中交通論 大槻信治著(三二九頁) 大正一一 三六八
 傳書鳩 陸軍騎兵少佐岩田鐵著(一三八頁) 大正一一 三六八

洋書、部

I NAVAL & MILITARY.

National defence.
 Johnson, J. E. (Compiler) Selected articles on national defence. N. Y. 1920. (Debaters' handbook series). 5394
 Mitchell, W., Brig-Gen., U. S. A. Our air force. The keystone of national defence. N. Y., 1921. 5393

Aeronautics.

Barber, H. Aerobatics. London, 1918. 5406
 Bewsler, Paul. Green hall "the adventure of a night-bomber." London, 1919. 5410
 Bishop, Major. Winged warfare. Hunting the Hunns in the air. London, n. d. 5407
 Booth, Harris. Aeroplane performance calculations. London, 1921. (The directly-useful technical series). 5429
 Boreaux, Henry. Gynemer, knight of the air. Translated from the French by L. M. Sill. London, 1918. 5421
 Cable, Boyd. Air men o'war. London, 1918. 5408
 Carmine, B. M. Aviation, theoric-practical text-book for students. N. Y., 1919. 5399
 Eastern night and flight. A record of Oriental adventure. By "Contact" (Alan Bott). London, 1920. 5413
 Eiffel, G. The resistance of the air and aviation experiment conducted at the Champ-Mars Laboratory. London, 2nd ed., 1913. 5424
 Hawker, H. G., A. F. C. & M. Griever, Lieut.-Comd., A. F. C., R. N. Our Atlantic attempt. London, 1919. 5416
 Hall, Bert, Lieut. In the air. Three years on

0644

and above three fronts. London, 1914.	5419	Bedovins. N. Y., 1919.	5431
Hall, J. N. High adventure. London, 1918.	5417	Beid, A. C., Capt., R. A. F. Planes and personalities. London, 1920.	5411
In the Royal Naval Air Service. Being the war letters of the late Harold Roshier to his family. London, 1916.	4315	Richhofen, W. F. V. The red air fighter. London 2nd ed., 1918.	5422
Jenkin, C. F., Lieut.-Col. Report on materials of construction used in aircraft and aircraft engines. London, 1920.	5432	Roustram-Bek; B. Aerial Russia. The romance of the aeroplane. London, 1916.	5400
Kear, F. J. Aeronautical engines. London, 2nd ed., 1918.	5427	Shaw, Herman. A text-book of aeronautics. London, 1919.	5426
Le Maître, W. Natural stability and the parachute principle in aeroplanes. London, 1911.	5402	Tennant, J. E., Lieut.-Col. In the cloud above Bagdad. Being the records of an air commander. London, 1920.	5412
MacCadden, J. T. B. Five years in the Royal Flying Corps. London, 1918.	5408	Villamil, R. de, Lieut.-Col. Resistance of air. London, 1917.	5401
Molter, B. A. Knights of the air. N. Y., 1918.	5420	Walters, E. W. Heroic airmen and their exploits. London, 1917.	5414
Nadand, Marcel. The flying polo. A story of aerial warfare. Translated by F. W. Haund. London, 1918.	5405	War flying by pilot. The letter of "Theater" to his home people. Written in training and in war. London, 1917.	5404
Noble, Walter. With a Bristol fighter squadron. London, 1920.	5409	Watts, H. C. The design of screw propellers with special reference to their adaptation for aircrafts. London, 1920.	5425
Park, W. E. A treatise on airscrews. N. Y., 1921. (The directly-useful technical series).	5395	Weir, Lord of Eastwood. Some developments in aircraft design and application during the war. London, 1919.	5398
Reece, R. H., Lieut. Night bombing with the			

Wainbow, C. D. With the French Flying Corps. London, 1917.	5418	ments of body with table. London, 1920.	5438
H. POLYMERIS & SOCIOLOGY.		Fleck, M. & L. Hill. A textbook of physiology. London, 1919.	5437
Hammond, J. H. & J. W. Jenks. Great American issues. Political, social, economic. N. Y., 1921.	5391	Mackenzie, James. Principles of diagnosis and treatment in heart affections. London, 1918.	5434
Macassey, Lyden. Labour policy—false and true. A study in economic history and industrial economics. London, 1922.	5440	Martindale, W. H. & W. W. Westcott. The extra-pharmacopoeia of Martindale and Westcott. Vol. I. London, 7th ed., 1920.	5435
MacDonald, William. Reconstruction in France. London, 1922.	5439	Porter, W. G. Diseases of the throat, nose and ear for practitioners and students. London, 1919.	5433
III. HISTORY.		VII. ENGINEERING.	
War history.		Boulton, B. C. The manufacture and use of plywood and glue. London, 1920.	5396
Gleaves, A. Vice Admiral, U. S. N. A history of the transport service. Adventures and experiences of United States transports and cruisers in the world war. N. Y., 1921.	5392	Devillers, René. Automobile and aero engines. Translated by W. M. J. Walker. London, 1919.	5423
VI. MEDICINE.			
Anderson, H. G. The medical and surgical aspects of aviation. With chapters on applied physiology of aviation by M. Flack and the aero-neuroses of war pilots by O. H. Gotch. London, 1919.	5435		
Dreyer, Georges. The assessment of physical fitness by capacity and certain measure-			

0646

海軍公報

第三千四十八號

大正十一年十二月六日(水)

海軍大臣官房

○訓令

海軍少將 櫻井 眞清

同 勝木 源次郎

同 古川 弘

同 横尾 尙

(各通)

同 安村 介一

同 宇土 兵藏

海軍主計少將 大窪 隆

海軍機關中佐 田中 半七

海軍機關少佐 開德 瀧衛

海軍軍醫大佐 清水 壽咲

自今潛在地ヲ東京ニ指定ス 海軍少將 野崎 小十郎

自今潛在地ヲ横須賀ニ指定ス(以上計海軍大臣)

○辭令

海軍屬 宮下 仙三

靖國神社祭典掛附ヲ命ス(計海軍省)

海軍大尉 大森 末雄
董儀裝員ニ要スル經費支拂ノ爲メ臨時資金前渡官吏ヲ命ス(計海軍省經理局支出官)

○艦船所在

△印ハハルベシ
指定ヲ要セス

○十二月六日午前十時調

〔横須賀〕 口長門、筑摩、滿州、口金剛、長良、北上、山城、阿蘇、加賀、安藝、薩摩、榛名、鳳翔、若宮、朝日、三笠、八雲、春日、千早、野風、沼風、波風、峯風、澤風、沖風、矢風、大刀風、帆風、夕風、汐風、灘風、秋風、羽風、島風、夕立、白露、三日月、夕暮、春風、初春、初雪、如月、神風、初霜、響、吹雪、有明、浦風、夕風、時雨、潛八、潛一四、潛一五、潛一九、潛二八、潛三〇、潛四〇、潛三八、潛三九、潛四七、潛四六、潛四一、潛五八、雄、鷗、鴻、關東、武藏、松江、富士

〔石川島〕 蕨、驅二〇

〔浦賀〕 五十鈴

〔大湊〕 樺、楸、檜、桑

海軍公報 第三千四十八號 大正十一年十二月六日

一一七九

0647

【吳】 球磨、多摩、伊勢、日向、鬼怒、矢矧、

韓崎、天龍、駒橋、土佐、扶桑、攝津、伊吹、千歲、明石、

追風、疾風、彌生、綾波、浦波、磯波、菊月、長月、

水無月、卯月、谷風、江風、菊葵、藤、萩、

蕪、海風、山風、檜、潜二六、潜二五、

潜二七、潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、

潜一六、潜一七、潜二二、潜一九、潜二〇、

潜三七、潜二二、潜二四、潜三六、潜三五、潜三四、

潜四四、潜五一、早鞆、大和、能登呂、石廊、膠州、

野間

野間

【大】 阪 駒一六

【神】 戸 駒四、潜五七、潜六八、隱戸

【德】 山 洲崎、高崎、劍崎

【佐世保】 龍田、陸奥、名取、霧島、比叡、由良、

鞍馬、生駒、肥前、敷島、常磐、須磨、最上、淀、

宇治、柳、柏、松、杉、檉、柳、樅、榎、

梨、竹、白雲、霞、野分、松風、若葉、朝風、

潮、子日、潜二一、潜一八、潜四三、潜四二、

潜三一、潜四五、潜六二、鷲、鴉、雲雀、鶴、知床、

襟裳、佐多

水七五

【鎮】 海 桂、楠、梅、野島、潜三三、潜三二

【元】 山 勝力

【南洋】 潮 日進

【浦】 潮 新高

【青】 島 新島

【上】 海 安宅

【漢】 口 嗟峨

【宜】 昌 伏見

【長】 沙 伏見

【重】 慶 伏見

【厦】 門 鳥羽

【航海中】

神威(十一月二十三日)「ホノルル」發徳山(へ)

尻矢(十一月二十三日)「横須賀發」タラカン(へ)

鶴見(十一月三十日)「吳發」タラカン(へ)

出雲、警手、淺間(三日)「マヘ」發古倫母(へ)

對馬(三日)舞鶴發佐世保(へ)

利根(四日)馬公發佐世保(へ)

大泊(四日)舞鶴發小樽(へ)

濱風(五日)舞鶴發

青島(五日)大湊發横須賀(へ)

室戸(五日)佐世保發鎮海(へ)

0648

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更

第三驅逐隊司令ハ本月四日司令驅逐艦ヲ帆風ヨリ太刀風ニ變更セリ

○司令潜水艦指定

第六潜水隊司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ第四十七潜水艦ニ指定セリ

○郵便物發送先

特務艦大泊宛
十二月十日迄到着見込ノモノハ 小樽郵便局氣付
其ノ後ハ當分ノ間 大湊郵便局氣付

○特務艦洲崎行動變定變更(十一月三十日)

地名	著	發
徳山		十二月七日
タラカン		十二月十七日
横須賀		一月二日

○「ペスト」發生報(十二月五日)
(内務省衛生局)

大阪市

本月三日南區東區町ニ疑似症一名發生、十一月三十日發生ノ疑似症一名眞症ト決定、瓦屋町一番町ニテ四頭有菌鼠發見
高知縣
本月二日高知市農人町荷揚場内有菌鼠二頭發見

海軍公報 第三千四十八號 大正十一年十二月六日 (部内限二頁) 一一八

0649

海軍公報

第三千四十九號

大正十一年十二月七日(木)
海軍大臣官房

○通牒

官房第三九五二號ノ四

大正十一年十二月七日

海軍次官 井出 謙 治

各 鎮 守 府 司令長官殿
第一、第二艦隊

臺灣在籍船天海丸外二艘内地不開港場寄港並沿岸貿易ノ件出願ニ付別紙ノ趣旨ニ依リ許可方遞信大臣ノ照會ニ對シ當省主管上支障ナキ旨同答ノ末本年十二月十三日ヨリ大正十二年六月十二日迄有效免狀交付セラレタリ

船名	天海丸	臺海丸	福海丸
免狀番號	第三四號	第三五號	第三六號
免狀交付ノ日	大正十一年十二月五日	同	同
國籍	日本	同上	同上

船籍港	種類	船主氏名及籍	船長氏名及籍	總噸數	使用ノ目的	寄港地名
高雄	汽船	臺灣製糖株式會社	宮野 常春	參千八百貳拾四噸六〇	貿易	山口縣 彦島、下關、小野田、本山、秋穂、西ノ浦、三田尻、鶴山
同上	同上	同	堀内 寅吉	參千八百拾噸〇九	同上	廣島縣 廣島、竹原、生口島、因ノ島、絲崎、木原、尾ノ道
同上	同上	同	畑中 芳太郎	六百八拾貳噸六參	同上	岡山縣 味野、日比、玉港、宇野、山田、牛窓、兵庫縣 赤穂、新濱、相生、八木、大鹽、神戸、魚崎、尼ヶ崎、山良
同上	同上	同	同	同	同上	大阪府 大阪

海軍公報 第三千四十九號 大正十一年十二月七日

二八三

0650

和歌山縣	勝浦、下津
三重縣	鳥羽、津、四日市
愛知縣	名古屋、武豊、半田、三谷
駿河縣	江尻
神奈川縣	浦賀、横濱、鶴見、横須賀
東京府	品川、東京
宮城縣	荻ノ濱、石濱
岩手縣	釜石、宮古、久慈
青森縣	鮫、青森、深浦
山形縣	酒田
秋田縣	熊代、椿、船川、土崎
福井縣	敦賀
新潟縣	新潟、夷、柏崎、直江津
石川縣	七尾
富山縣	伏木
福岡縣	門司、大里、戸畑、枝光、八幡、若松、西戸崎、博多、姪濱、今宿、三池
佐賀縣	唐津、上唐津、向島、伊萬里、住ノ江
長崎縣	今福、江迎、佐々、崎戸島、松島、福島、長崎、香焼、口ノ津
熊本縣	三角
鹿兒島縣	鹿兒島
愛媛縣	波止濱、今治、多喜濱、川之江、伯方島
香川縣	詫間、多度津、丸龜、宇多津、坂出、高松
德島縣	撫養

沖繩縣 那覇
 北海道廳
 波島國 森、函館
 後志國 小樽
 天鹽國 増毛、留萌、鬼鹿、苦前、羽幌、初山別、遠別、天鹽、沙流、利尻島、禮文島、枝幸附近幌別以北ノ北見沿岸
 北見國 禮文、幌内、雄武、興部、紋別、元紋別、中湧別、下湧別、釧路、常呂、能取、網走、藻琴、若瑯、斜里、朱丹、遠音別
 根室國 根室
 釧路國 厚岸、釧路
 十勝國 十勝
 膽振國 室蘭、紋甕
 右不開港場ニ寄港シ並各寄港地間ニ於テ旅客及物品ヲ運送スルコトヲ特許ス
 本免狀有效期間ハ大正十一年十二月十三日ヨリ大正十二年六月十二日迄トス
 但必要ノ節ハ同期間内ト雖モ右特許ヲ取消スコトアルヘシ
 大正十一年十二月五日
 遞信大臣

○ 辭令

0651

(各通)

海軍中佐 服部 正計
海軍少佐 降 幡 敏

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス(社海軍省)

海軍艦政本部附兼造船監督助手ヲ免シ吳海軍工廠附

ヲ命ス 海軍技手 加藤 信吉

海軍艦政本部勤務海軍技手 田邊 一雄

兼造兵監督助手ヲ免ス 海軍造兵廠附海軍技手 田中 宮次

兼海軍艦政本部附造兵監督助手ヲ免ス(以上社海軍省)

○艦船所在

指定ヲ與セズ

○十二月七日午前十時嗣

【横須賀】 口長門、筑摩、滿州、口金剛、北北上

山城、阿蘇、加賀、安藝、薩摩、榛名、鳳翔、若宮

朝日、三笠、八雲、春日、千早、口野風、沼風、波風

口峯風、澤風、沖風、矢風、口太刀風、帆風、夕風、

沙風、口灘風、秋風、羽風、島風、口夕立、白露

三日月、夕暮、口春風、初春、初雪、口如月、神風

初霜、響、吹雪、有明、浦風、夕風、時雨、口潛九、潛八、

口潛一四、潛一五、口潛二九、潛二八、潛三〇、

口潛四〇、潛三八、潛三九、口潛四七、潛四六、潛四一、

潛五八、口雄鷗、鴻、關東、武藏、松江、富士

【石川島】 董、驅一〇

【浦賀】 五十鈴

【大湊】 口榕、櫻、榎、桑

【吳】 球磨、多摩、伊勢、日向、鬼怒、矢矧、

韓崎、天龍、駒橋、土佐、扶桑、攝津、伊吹、千歲、明石、

口追風、疾風、彌生、綾波、口浦波、磯波、菊月、長月、

水無月、卯月、口谷風、江風、菊葵、口藤、秋

薄、葛、口海風、山風、楢、榎、口潛二六、潛二五、

潛二七、口潛一〇、潛一一、潛一二、口潛一三、

潛一六、口潛一七、口潛二三、潛一九、潛二〇、

口潛三七、潛二二、潛二四、口潛三六、潛三五、潛三四、

口潛四四、潛五一、早柄、大和、能登呂、石廊、膠州、

野間

【大】 驅一六

【神戶】 洲崎、劍崎

【德】 佐世保、龍田、陸奥、口名取、霧島、口比叡、對馬、

由良、鞍馬、生駒、肥前、敷島、常磐、須磨、最上、淀、

宇治、口神、柏、松、杉、榎、柳、口樅、榎、

梨、竹、口柿、榆、栗、梅、口菱、葎、口藜、遣、

蓬、驅二、口白雪、俄、野分、松風、口若葉、朝風、

潮、子日、口潛三二、潛一八、口潛四三、潛四二、

口潛三一、潛四五、潛六一、口鷲、鶉、雲雀、鶴、知床、

松葉、佐多、野島

【長崎】 驅一

0652

【馬公】 橋、桐、樺
 【舞鶴】 大井、木曾、鹿島、香取、平戸、吾妻、
 水七五
 時津風、磯風、天津風、水七二、水七三、水七四、

【鎮海】 大泊
 桂、楠、梅、潜三三、潜三二、室戸

【元山】 日楓
 勝力

【南洋群島】 日進
 新高

【浦潮】 新高

【青島】 日楓
 安宅

【上海】 日楓
 安宅

【漢口】 日楓
 安宅

【宜昌】 日楓
 安宅

【長沙】 日楓
 安宅

【重慶】 日楓
 安宅

【厦門】 日楓
 安宅

【タラカン】 日楓
 安宅

【航海中】

神威(十一月二十三日)「ホノルル」(發徳山へ)

鶴見(十一月三十日)「タラカン」(へ)

中雲、警手、淺間(三日)「マハ」(發古倫母へ)

利根(四日)馬公發佐世保(へ)

滑風(五日)舞鶴發(へ)

青島(五日)大湊發横須賀(へ)
 長良(六日)横須賀發佐世保(へ)
 高崎(七日)徳山發横須賀(へ)

○雜款

○郵便物發送先

第十四潜水隊(第二十三、十九、二十潜水艦)宛

自今 軍艦韓崎宛

第六潜水隊(第四十七、四十六潜水艦)宛

自今 軍艦湖州宛

○特務艦野島行動豫定

地名 著 發

鎮海 十二月六日 十二月五日

佐世保 十二月九日 十二月九日

西戶崎 十二月九日 十二月九日

馬公 十二月二十日 十二月二十六日

高雄 十二月三十日 十二月二十九日

○特務艦青島行動豫定

地名 著 發

横須賀 十二月十一日

0653

吳	十二月十四日	十五日
旅順	二十日	二十五日
鎮海	二十八日	二十九日
佐保	三十一日	一月六日
舞鶴	一月九日	十二日
吳	十五日	十八日
横須賀	二十一日	

○事務所設置
 第十驅逐艦艦裝員事務所ヲ東京石川島造船所内ニ設置
 シ十二月六日ヨリ事務ヲ開始セリ(第十驅逐艦艦裝員
 長)

○「ペスト」發生報(十二月六日)
 (内務省衛生局)

大阪市
 本月四日南區瓦屋町一番町一名疑似症發生、二ツ井戸
 町ニテ一頭有菌鼠發見

累計
 眞症 七一名
 疑似症 七八名
 有菌鼠 一七六頭
 有菌猫 一頭

海軍公報 第三千四十九號 大正十一年十二月七日

(部内限一頁)

一一八七

0654

海軍公報

第三千五十號

海軍大臣官房

大正十一年十二月八日(金)

○ 辭令

海軍造兵大佐 芥川 榮孝
兼總務部第二課勤務ヲ命ス

海軍造機中佐 松田 竹太郎
兼第五部勤務ヲ命ス(以上註海軍艦政本部)

(各通)

海軍技手 安藤 勇夫
同 杉山 勇次郎

第二部兼第一部勤務ヲ命ス(註海軍建築本部)

○ 艦船所在

▲印(ハカ)
相定ヲ要セス

○十二月八日午前十時調

【横須賀】 口長門、筑摩、滿州、口金剛、北北上、山城、阿蘇、加賀、安藝、薩摩、榛名、鳳翔、若宮、朝日、三笠、八雲、春日、千早、野風、沼風、波風、峯風、澤風、沖風、矢風、木刀風、帆風、夕風、沙風、灘風、秋風、羽風、島風、夕立、白露、三日月、夕暮、春風、初春、初雪、如月、神風、

海軍公報 第三千五十號 大正十一年十二月八日

初霜、響、吹雪、有明、浦風、夕風、時雨、潜九、潜八、潜四、潜一五、潜二九、潜二八、潜三〇、潜四〇、潜三八、潜三九、潜四七、潜四六、潜四一、潜五八、潜八、雄、鷗、鴻、關東、武藏、松江、富士、

【石川島】 董、驅一〇

【浦賀】 五十鈴

【大湊】 口椿、樺、楨、桑

【小樽】 大泊

【吳】 球磨、多摩、伊勢、日向、鬼怒、矢矧、韓崎、天龍、駒橋、土佐、扶桑、攝津、伊吹、千歲、明石、追風、疾風、彌生、綾波、浦波、磯波、菊月、長月、水無月、卯月、山谷風、江風、菊、葵、藤、萩、蕨、葛、海風、山風、檜、榎、潜二六、潜二五、潜二七、潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、潜一六、潜一七、潜二二、潜一九、潜二〇、潜三七、潜二二、潜二四、潜三四、潜三五、潜三六、潜四四、潜五一、早鞆、大和、能登呂、石廊、膠州、野間

【阪】 驅一六

【大戸】 驅四、潜五七、潜六八、隱戶

【神戶】 洲崎、劍崎

【德】

0655

【佐世保】

龍田、陸奥、名取、霧島、比叡、對馬、由良、鞍馬、生駒、肥前、常磐、須磨、最上、淀、宇治、榊、柏、松、杉、櫻、柳、樅、榎、梨、竹、柿、楡、栗、梅、菱、蕨、藜、蓮、蘆、鴨、野分、松風、若葉、朝風、湖、子日、潛二、潛一八、潛四三、潛四二、潛三一、潛四五、潛六二、鷺、鴉、雲雀、鶴、知床、襟裳、佐多、野島

【長崎】

馬公、桐、樺、大井、木曾、鹿島、香取、平戸、吾妻、舞鶴、時津風、磯風、天津風、水七二、水七三、水七四、水七五

【鎮海】

桂、楠、梅、潛三三、潛三二

【元山】

楓

【南洋群島】

勝力

【浦潮】

日進

【青島】

新高

【上海】

安宅

【漢口】

嗟峨

【宜昌】

伏見

【長沙】

附田

【重慶】

鳥羽

【馬尾】

橋

【厦門】

櫻、尻矢

【航海中】

神威(十一月二十三日「ホノルル」發徳山へ)
鶴見(十一月三十日吳發「タラカン」へ)
出雲、磐手、淺間(三日「マ」發古倫母へ)
利根(四日馬公發佐世保へ)
濱風(五日舞鶴發)
青島(五日大湊發橫須賀へ)
長良(六日橫須賀發佐世保へ)
高崎(七日徳山發橫須賀へ)
室戸(七日鎮海發旅順へ)

○雜款

○司令潜水艦變更
第十六潜水隊司令ハ本月六日司令潜水艦ヲ第三十六潜水艦ヨリ第三十四潜水艦ニ變更セリ
○郵便物發送先
軍艦天龍宛
十二月十日迄到著見込ノモノハ
同 十三日迄 同
其ノ後ハ 吳 三津濱

0656

○電話、宿所

皇族附武官(博恭王附屬)
青山一六七〇番 海軍中佐 有馬 寛
豊多摩郡澁谷町中澁谷
大山七二四

○電話架設

海軍省軍務局第三課長
芝五五二三番 海軍大佐 臼井 國
豊多摩郡澁谷町下澁谷一七八

○「ペスト」發生報(十二月七日
内務省衛生局)

大阪市
本月五日南區空堀町自宅隔離中ノモノ一名疑似症發
生、十一月二十五日發生ノ患者眞症ト決定
瓦屋町二番町一頭、一番町三頭、西原町一頭計五頭
有菌鼠ト決定

○正誤

本月一日附錄豫備員辭令中五頁上段德田末雄ノ一行ハ
衍

0657

海軍公報

第三千五十二號

大正十一年十二月九日(土)

海軍大臣官房

○通牒

經艦第三四八號

大正十一年十二月九日

海軍省經理局主任出納官吏 柳沼 廣三

艦船分任出納官吏殿

豫算現況報告書ニ關スル件

海軍會計規程第三十七條ニ依リ豫算現況報告書調製上
必要ニ付同第十六號書式ニ準シ來ル一月六日迄ニ遲滯
ナキ様豫算現況報告書提出相成度
右依命申進ス

○辭令

海軍技師 小屋 壽

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス

海軍艦政本部勤務海軍技師 志田 市太郎

兼造船監督助手ヲ免ス

海軍公報 第三千五十二號 大正十一年十二月九日

一一九三

支那上海へ出張ヲ命ス(以上^{以上}海軍省)
海軍技師 東 次郎吉

佐世保海軍經理部課員

海軍主計少佐 渥美 龍夫

艦隊所屬艦船經費分任出納官吏ヲ免ス

佐世保海軍經理部課員

海軍主計少佐 根本 米次郎

艦隊所屬艦船經費分任出納官吏ヲ命ス(以上^{以上}海軍省經理局支出官)

○艦船所在

△印ハヘカセ
指定ヲ與セズ

○十二月九日午前十時調

【横須賀】 口長門、銃摩、滿州、口金剛、北土、

山城、阿蘇、加賀、安藝、薩摩、榛名、鳳翔、若宮、

朝日、三笠、八雲、春日、千早、口野風、沼風、波風、

口峯風、澤風、沖風、矢風、口太刀風、帆風、夕風、

沙風、口灘風、秋風、羽風、島風、口夕立、白鷺、

三日月、夕暮、口春風、初春、初雪、口如月、神風、

0658

初霜、響、吹雪、有明、浦風、夕風、時雨、
□潜九、潜八、
□潜一四、潜一五、□潜二九、潜二八、潜三〇、
□潜四〇、潜三八、潜三九、□潜四七、潜四六、潜四一、
潜五八、□雄、
青島、關東、武藏、松江、富士、

【石川島】 董、驅一〇

【浦賀】 五十鈴

【大湊】 □椿、樺、楨、桑

【小樽】 大泊

【吳】 □球磨、多摩、伊勢、日向、鬼怒、
ト矢矧、
韓崎、天龍、駒橋、土佐、扶桑、攝津、伊吹、千歲、明石、

□追風、疾風、彌生、綾波、□浦波、磯波、菊月、長月、
水無月、卯月、□谷風、江風、菊、葵、□藤、萩、
薄、葛、□海風、山風、楢、榎、□潜二六、潜二五、
潜二七、□潜一〇、潜一一、潜一二、□潜一三、
潜一六、□潜一七、□潜二三、潜一九、潜二〇、
□潜三七、潜三二、潜二四、□潜三四、潜三五、潜三六、
潜四四、潜五一、早鞆、大和、能登呂、石廊、膠州、
野間、劍崎

【大坂】 驅一六

【神戶】 驅四、潜五七、潜六八、隱戶

【德山】 洲崎

【佐世保】 □龍田、陸奥、
ト名取、霧島、比叡、對馬、
利根、由良、鞍馬、生駒、肥前、
敷島、常磐、須磨、
最上、淀、宇治、□榊、
柏、松、杉、檜、柳、□樅、

榊、梨、竹、□枹、楡、栗、梅、
□菱、嚴、葦、□鬱、
蓮、蓬、驅二、□白雲、
彼、野分、松風、□若葉、
朝風、潮、子日、□潜二一、
潜一八、□潜四三、
潜四二、潜三一、潜四五、
潜六二、□鷲、鶉、雲雀、
鶴、知床、襟裳、佐多

【長崎】 驅一、驅三

【馬公】 桐、樺

□時津風、磯風、天津風、
濱風、水七二、水七三、
水七四、水七五

【鎮海】 楠、梅、□潜三三、潜三一

【元山】 □楓

【南洋群島】 勝利

【浦潮】 日進

【青島】 新高

【上海】 □檜、桃

【漢口】 □安宅

【宜昌】 蟻峨

【長沙】 伏見

【重慶】 岡田

【馬尾】 鳥羽

【厦門】 □櫻

【タラカン】 尻矢

【航海中】

神威(十一月二十三日「ホノルル」發徳山へ)
鶴見(十一月三十日吳發「タラカン」へ)
出雲、警手、淺間(三日「マハ」發古倫母へ)
長良(六日横須賀發佐世保へ)
高崎(七日徳山發横須賀へ)
室戸(七日鎮海發旅順へ)
桂(八日鎮海發元山へ)
野島(八日佐世保發西戸崎へ)

○雜款

○驅逐艦進水
長崎三菱造船所ニ於テ建造ノ第三驅逐艦昨八日午前十時四十五分進水セリ

○郵便物發送先

第十四驅逐隊(谷風、江風、菊、葵)宛
十二月十一日迄到著見込ノモノハ 賀茂那廣村
同 十三日迄 同 吳
同 二十日迄 同 徳山
其ノ後ハ 吳

第二十二驅逐隊(楠、梅、桂、楓)宛
自今 鎮海

特務艦野島宛
十二月十五日迄到著見込ノモノハ 西戸崎
其ノ後ハ 佐世保郵便局留置

○郵便物發送先變更(十一月二十五日)
特務艦青島宛

十二月十日迄到著見込ノモノハ 横須賀
同 十四日迄 同
同 二十四日迄 同
同 二十九日迄 同
一月五日迄 同
同 十一日迄 同
同 十七日迄 同
其ノ後ハ 横須賀
吳 鎮海
旅順
佐世保
吳 鶴
須賀

○事務引繼

前任海軍造兵廠長海軍造兵中將 有坂韶藏
後任海軍造兵廠長海軍造兵少將 野田鶴雄
右十二月七日事務引繼終了(海軍造兵廠)

○應舎移轉

本校本月左記ニ移轉ス(十二月八日海軍經理學校)
京橋區築地四丁目一番地 水交社隣

○「ペスト」發生報(十二月八日
内務省衛生局)

大阪市
十二月六日南區空堀町一名疑似症發生、瓦屋町二番
町四頭、一番町四頭有菌鼠發見

(部内限一頁)

0661

海軍公報

第三千五百十二號

大正十一年十二月十一日(月)

海軍大臣官房

○令達

官房第四〇九五號

來ル十五日賢所御神樂被爲行候ニ付親任官一同並勅
任官總代ハ同日午後四時三十分賢所參集所へ參集スヘ

大正十一年十二月十一日

海軍大臣男爵 加藤友三郎

○訓令

海軍少佐	櫻井繁
海軍機關大佐	金丸延治郎
同	加藤利三郎
同	渡邊隆毅
同	福田剛太郎
同	鳥居辰雄
同	小西省三

(各通)

海軍機關中佐	坂井爲吉
同	布田民次郎
同	稻田輝太郎
同	本山次郎
同	中里陽一
同	青柳清
同	染河精之進
同	泉富三郎
同	齋藤昇
同	島内琢一郎
同	田坂信一
同	相田信吉
同	小松虎治郎
同	庄中孝三郎
同	酒井純秀
同	田中爲之進
同	佐藤隆太郎
同	守屋忠太
同	林屋忠太
同	丸田茂助
同	三野賢吉

海軍公報 第三千五百十二號

大正十一年十二月十一日

二九七

0662

○大正十一年十二月十日

(各通)

渡邊 祐一
小澤 德太郎
山崎 新一

任海軍技手
給月俸七拾圓

藤田 寅次郎

吳海軍工廠見習職工教習所教務ヲ囑託ス

但報酬月額百四拾圓ヲ給シ部内限リ奏任官待遇ト
ス(付海軍省)

吳海軍工廠附ヲ命ス

海軍技手 渡邊 祐一
海軍技手 小澤 德太郎
同 山崎 新一

吳海軍工廠勤務ヲ命ス

海軍大佐 米内 光政

波蘭國駐在員監督ヲ免ス

海軍中佐 池中 健一

波蘭國駐在員監督ヲ命ス

小宮 豐隆

海軍大學校ニ於ケル獨逸語教授囑託ヲ解ク(以上付海軍省)

海軍省)

第一高等學校教授 立澤 剛

海軍大學校ニ於ケル獨逸語教授ヲ囑託シ報酬月額九拾圓ヲ贈與ス(付海軍省)

同 德田 壽太郎

同 風間 馨

同 友成 安夫

同 海軍藥劑大佐 都筑 武熊

同 海軍主計大佐 榎 智

同 池上 武雄

同 金子 孫三郎

同 佐藤 土之助

同 齋藤 勝助

同 中村 乾二

同 塚崎 義一

同 小山 芳太郎

同 江川 義雄

同 内山 榮太郎

滞在地ヲ東京ニ指定ス

(各通)

海軍機關少佐 松井 亥太郎
海軍軍醫大佐 倉田 重隆

滞在地ヲ横須賀ニ指定ス

滞在地ヲ吳ニ指定ス 海軍大佐 山崎 正策

(各通)

海軍大佐 吉富 新八
海軍中佐 露田 文八

滞在地ヲ佐世保ニ指定ス(以上付海軍大臣)

○ 諭 令

0663

（各通）
海軍中佐 名古屋 十郎
海軍主計少佐 佐藤 富三
第三課勤務ヲ命ス（註）海軍省軍需局

○ 艦船所在 △印ハハカテ
相定ヲ要セヌ

○十二月十一日午前十時調

【横須賀】 口長門、筑摩、滿州、口金剛、北北上、山城、阿蘇、加賀、安藝、薩摩、榛名、鳳翔、若宮、朝日、三笠、八雲、春日、千早、野風、沼風、波風、峯風、澤風、沖風、矢風、口太刀風、帆風、夕風、沙風、口灘風、秋風、羽風、島風、口夕立、白露、三日月、夕暮、口春風、初春、初雪、口如月、神風、初霜、響、吹雪、有明、浦風、夕風、時雨、口潛九、口潛八、口潛一四、口潛一五、口潛二九、口潛二八、口潛三〇、口潛四〇、口潛三八、口潛三九、口潛四七、口潛四六、口潛四一、口潛五八、口雄、口鴻、口關東、武藏、松江、富士、青島、高崎

【石川島】 董、驅一〇
【浦賀】 五十鈴
【大湊】 口椿、櫻、槓、桑
【小樽】 大泊
【吳】 口球磨、多摩、伊勢、日向、鬼怒、口矢矧、韓崎、天龍、駒橋、土佐、扶桑、攝津、伊吹、千歲、明石

口追風、疾風、彌生、綾波、口浦波、磯波、菊月、長月、水無月、卯月、口藤、萩、蕨、葛、口海風、山風、檜、口潛一三、口潛一六、口潛一七、口潛一〇、口潛一一、口潛一二、口潛一三、口潛一六、口潛一七、口潛一八、口潛一九、口潛二〇、口潛二七、口潛二二、口潛三四、口潛三五、口潛三六、口潛四四、口潛五一、早鞆、大和、能登呂、膠州、野間、劍崎

【大坂】 驅一六
【神戶】 驅四、潛五七、潛六八、隱戶

【長濱】 口谷風、江風、菊、葵、潛二四

【德山】 神威
【佐世保】 口龍田、陸奥、口名取、長良、霧島、比叡、對馬、利根、由良、鞍馬、生駒、肥前、敷島、常磐、須磨、最上、淀、宇治、口榊、口松、口杉、口檜、口柳、口榎、口梨、口竹、口榊、口榎、口栗、口梅、口菱、口蕨、口藜、口蓮、口蓬、口驅二一、口白雪、口野分、口松風、口若葉、口朝風、口潮、口日、口潛二一、口潛一八、口潛四三、口潛四二、口潛三一、口潛四五、口潛六二、口鷲、口鶉、口雲雀、口鶴、口知床、口襟裳、口佐多

【西戶崎】 野島
【長崎】 驅一、驅三
【馬公】 口桐、口樺
【舞鶴】 口大井、口木曾、口鹿島、口香取、口平戶、口吾妻、口時津風、口磯風、口天津風、口濱風、口水七二、口水七三、口水七四、口水七五

鎮海 楓、梅、潜三、潜三二

釜山 柱

元山 室戸

旅順 勝力

南洋群島 日進

浦潮 新高

青島 檜、桃

上海 安宅

漢口 嵯峨

宜昌 伏見

長沙 隅田

重慶 鳥羽

馬尾 橘

厦門 櫻

【航海中】

鶴見(十一月三十日吳發「タラカン」へ)

▷出雲、警手、淺間(三日「マ」)發古倫母へ)

尻矢(七日「タラカン」發馬公へ)

▷潜二六(九日吳發長濱へ)

石廊(九日吳發「タラカン」へ)

洲崎(十日徳山發「タラカン」へ)

○雜款

○總代

來ル十五日賢所御神樂被爲行候節總代トシテ參列スヘ
キ旨左記へ通達セラレタリ

勅任官總代 海軍中將 中里 重次

○司令潜水艦指定

第十一潜水隊司令ハ本月四日司令潜水艦ヲ第二十六潜水艦ニ指定セリ

○郵便物發送先

軍艦阿蘇宛

十二月十四日迄到著見込ノモノハ

横須賀郵便局留置

其ノ後ハ

驅逐艦桂宛

自今

元山

特務艦野間宛

十二月十三日以後

吳郵便局留置

特務艦劍崎宛

十二月十三日迄到著見込ノモノハ 吳

0665

同 十七日迄
其ノ後ハ

徳 山
吳 山

待務艦石廊宛

一月十三日迄到着見込ノモノハ
其ノ後ハ 吳 山

○事務所設置

第六十八潜水艦艇裝員事務所ヲ神戸川崎造船所内ニ設置シ本日ヨリ事務ヲ開始セリ(註)第六十八潜水艦艇裝員長)

第五十七潜水艦艇裝員事務所ヲ三菱神戸造船所海軍監督官事務所内ニ設置セリ(註)第五十七潜水艦艇裝員長)

○事務引繼

前海軍艦型試験所長近藤造船中將ハ新所長代理吉田造船大佐ニ十二月六日事務引繼ヲ了シ退廳セリ

○「ペスト」發生報(十二月九日 内務省衛生局)

大阪市

十二月七日南區湯産九番町一名疑似症發生、十二月五日發生ノ疑似症ハ眞症ト決定、南區道頓堀川新戎橋北橋下收得鼠一頭、瓦屋町一番町三頭、三番町一頭、空堀町二頭、二ツ井戸町一頭有菌鼠ト決定

累計

眞似症 七四名
疑鼠 一九七頭
有菌鼠 一七九頭

0666

海軍公報 號外

大正十一年十二月十一日(月)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第四〇九八號

大正十一年四月官房第一三〇三號海軍購買名簿中左ノ通改正ス

大正十一年十二月十一日

海軍大臣 男爵 加藤 友三郎

- 一 二 油脂、蠟類 一六項中、品名ヲ左ノ通變更ス
潤滑用カストル油
- 三 機械、器具類 八項へ左ノ通加フ

生産、製造者	生産、製造者所在地	工場名	工場所在地
株式會社細井鋸工場	東京府豊多摩郡代々幡字幡ヶ谷		
一四 藥品類 一項へ左ノ通加フ			
生産、製造者	生産、製造者所在地	工場名	工場所在地
關東酸曹株式會社	東京府北豊島郡玉子町		

海軍公報 號外

0667

一六 絲、紐、布、氈類 二項へ左ノ通加フ

生産、製造者	生産、製造者所在地	工場名	工場所在地
--------	-----------	-----	-------

大阪毛織株式会社	大阪府西成郡豊崎町		
----------	-----------	--	--

高安合資會社	岐阜縣安八郡墨俣町		
--------	-----------	--	--

一七 雜品類 三項へ左ノ通加フ

生産、製造者	生産、製造者所在地	工場名	工場所在地
--------	-----------	-----	-------

香蘭合名會社	佐賀縣西松浦郡有田町		
--------	------------	--	--

一八 金属材料類 二〇項、二二項中 株式會社川崎造船所、神戸市東川崎町二丁目ヲ削ル

0668

海軍公報

第三千五百三十三號

大正十一年十二月十二日(火)

海軍大臣官房

○通牒

官房第四一〇八號

大正十一年十二月十二日

海軍省副官 藤田 尙德

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀)殿

汽船「トロール」漁業許可ノ件

本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局ヨリ通知アリタリ
右通牒ス

記

許可番號	第八六號
住所	東京市京橋區南橫町二番地
氏名又ハ名稱	大正水産株式會社
船名	芙蓉丸
操業區域	東海及黃海

漁獲物陸揚港

長崎、博多、下關

許可期間

許可ノ日ヨリ拾箇年

制限又ハ條件

一、朝鮮總督府及臺灣總督府令ノ定ムル「トロール」漁業ノ禁止區域ハ之ヲ遵守スヘシ
一、「トロール」漁業監視ノ乘組ヲ命ジタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

許可年月日

大正十一年十二月八日

○辭令

(各通)

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス	海軍少佐 安藤 謙次郎
海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス	海軍大尉 森田 一男
海軍生徒採用試験常置委員ヲ免ス	海軍少佐 松岡 龍雄
海軍少佐	村中 又一
同	山本 雅一
同	一色 建之介

海軍公報 第三千五百三十三號 大正十一年十二月十二日

一三〇三

0669

【西戶崎】野島
 【長崎】野島、白雲、飯、野分、松風、若葉、朝風、潮、子日、潜三一、潜一八、潜四三、潜四二、潜三一、潜四五、潜六二、鷲、雲雀、鶴、知床、襟裳、佐多

【馬公】桐、樺

【舞鶴】大井、木曾、鹿島、香取、平戸、吾妻、時津風、磯風、天津風、濱風、水七二、水七三、水七四、水七五

【鎮海】楓、楠、梅、潜三三、潜三二

【元山】桂

【旅順】室戸

【南洋群島】勝力

【浦潮】日進

【青島】新高

【上海】安宅

【漢口】蟻賊

【長沙】伏見

【重慶】陰田

【馬尾】鳥羽

【廈門】櫻

【航海中】

鶴見(十一月三十日吳發「タラカン」へ)

▷出雲、磐手、淺間(三日「マ」發古倫母へ)

尻矢(七日「タラカン」發馬公へ)

潜二六(九日吳發長濱へ)

石廊(九日吳發「タラカン」へ)

洲崎(十日德山發「タラカン」へ)

大泊(十一日小樽發亞港へ)

○雜款

○司令驅逐艦變更

第二十七驅逐隊司令ハ十二月九日司令驅逐艦ヲ菱ヨリ炭ニ變更セリ

○特務艦大泊行動豫定

地名	著	發
大湊	一月十日	一月八日
浦鹽	一月二十二日	十五日
亞港	二月十三日	二十四日
小樽	二月三十日	二月七日
亞港	二月十三日	十七日

0672

小 櫛	二十六日	三月 六日
亞 港	三月十二日	三月 十四日
小 櫛	二十五日	四月 二日
亞 港	四月 八日	四月 十二日
横 須 賀	二十八日	

(備考) 情況許ス限リ往復共「ビレオ」ニ寄港ス

○委員會解散

陸海軍航空協定委員會ハ其ノ任務終了ニ付十二月一日同委員會ヲ解散セリ

○在外武官宿所

獨國駐在海軍少佐野村直邦ハ九月二十五日柏林著宿所ヲ左記ニ定メタリ

bei Kapitän Araki
Berlin-Wilmersdorf
Nassauische Str. 54/55

○電話設置

海軍軍令部出仕

青山二五二番 海軍機關大佐 鴻 山 藏

赤坂區青山南町六ノ一三三

○「ペスト」發生報 (十二月十一日 内務省衛生局)

大阪市

十二月八日南區瓦屋町一番町四頭、四番町一頭、谷町八丁目一頭有菌鼠ト決定
十二月九日瓦屋町三番町一名疑似症發生、同月三、四兩日中發生ノ疑似症二名眞症ト決定、瓦屋町一番町三頭、空堀町一頭、日本橋筋東一丁目一頭有菌鼠ト決定

0673

海軍公報

第三千五百四號

大正十一年十二月十三日(水)

海軍大臣官房

○ 辭令

海軍艦政本部附兼造船監督助手ヲ免シ横須賀海軍工廠附ヲ命ス
海軍技手 市野 金一

渡邊 俊雄

海軍火藥廠ニ於ケル火藥原料研究ニ關スル事項ヲ囑託ス但報酬月額百圓ヲ給シ部内限リ委任官待遇トス
六所 文三
海軍火藥廠ニ於ケル火藥原料研究ニ關スル事項囑託ヲ解ク(以上并請海軍省)

海軍主計少佐 高木 正三
第三課勤務ヲ命ス(并請海軍省經理局)
海軍技手 武内 武夫
研究部勤務ヲ命ス(并請海軍造兵廠)

○ 艦船所在

指定ヲ受セシム

○十二月十三日午前十時調

海軍公報 第三千五百四號 大正十一年十二月十三日

二二〇九

〔横須賀〕 口長門、筑摩、滿州、口金剛、口北上、山城、阿蘇、加賀、安藝、薩摩、榛名、鳳翔、若宮、朝日、三笠、八雲、春日、千早、口野風、沼風、波風、口峯風、澤風、沖風、矢風、口太刀風、帆風、夕風、沙風、口灘風、秋風、羽風、島風、口夕立、白露、三日月、夕暮、口春風、初春、初雪、口如月、神風、初霜、響、吹雪、有明、浦風、夕風、時雨、口潛九、潛八、口潛一四、潛一五、口潛二九、潛二八、潛三〇、口潛四〇、潛三八、潛三九、口潛四七、潛四六、潛四一、口潛五八、口雄、鷗、鴻、關東、武蔵、松江、富士、

〔石川島〕 董、驅一〇

〔浦賀〕 五十鈴

〔大湊〕 口椿、櫻、楨、桑

〔吳〕 口球磨、多摩、伊勢、日向、鬼怒、口矢矧、韓崎、駒橋、土佐、扶桑、攝津、伊吹、千歲、明石、口追風、疾風、彌生、綾波、口浦波、磯波、菊月、長月、水無月、卯月、口谷風、江風、菊、葵、口藤、萩、海、葛、口海風、山風、檜、櫻、口潛二六、潛二五、潛二七、口潛一〇、潛一一、潛一二、口潛一三、潛一六、口潛一七、口潛二三、潛一九、潛二〇、口潛三七、潛二二、潛二四、口潛三四、潛三五、潛三六、潛四四、

0674

【大 阪】 潜五一、早柄、大和、能登呂、膠州、野間、劍埼
 關一六

【神 戶】 關四、潜五七、潜六八、隠戸

【三 津 濱】 天龍

【德 山】 神威

【佐世保】 ▶龍田、陸奥、▶名取、長良、霧島、比叡、利根、由良、鞍馬、生駒、肥前、敷島、常磐、須磨、最上、淀、宇治、口神、柏、杉、樅、柳、口從、樺、梨、竹、口柿、榆、栗、梅、口蕨、菱、葦、口蓼、蓮、蓬、驅二、口白雪、俄、野分、松風、口潜二一、潜一八、口潜四三、潜四二、潜三一、潜四五、潜六一、口鷲、朝、雲雀、鶴、知床、襟裳、佐多

【西 戸 崎】 野島

【長 崎】 駒一、驅三

【馬 公】 桐、樺

【舞 鶴】 大井、木曾、鹿島、香取、平戸、吾妻、口時津風、磯風、天津風、濱風、水七二、水七三、水七四、水七五

【鎮 海】 口楓、楠、梅、口若葉、朝風、潮、子日、口潜三三、潜三一

【元 山】 桂

【旅 順】 室戸

【南洋群島】 勝力

【浦 潮】 日進

【高 知】 新高

【青 島】 口檜、桃

【上 海】 ▶安宅

【漢 口】 艦峨

【宜 昌】 伏見

【長 沙】 陽田

【重 慶】 鳥羽

【馬 尾】 櫻

【厦 門】 橘

【航海中】

鶴見(十一月三十日吳發「タラカン」へ)

▶出雲、警手、淺間(三日「マ」發古倫母へ)

尻矢(七日「タラカン」發馬公へ)

石廊(九日吳發「タラカン」へ)

洲崎(十日徳山發「タラカン」へ)

大泊(十一日小樽發亞港へ)

青島(十一日横須賀發吳へ)

高崎(十一日横須賀發大湊へ)

劉馬(十二日佐世保發青島へ)

○ 雜 款

○特務艦室戸行動豫定中變更(十二月四日 本欄参照)

地 名 著 發

佐世保 十二月十七日 十二月二十日

0675

舞鶴 二十二日
 吳 二十七日
 二十四日

○「ペスト」發生報(十二月十二日
 内務省衛生局)

高知縣
 十二月七日幡多郡清松村松尾一名眞症發生、八日乃
 至十日ニ亘リ同患家及其ノ附近ニテ有菌鼠七頭及有
 菌蚤一匹發見

累計
 眞症 二九名
 疑似症 三四名
 有菌鼠 一四頭
 有菌蚤 一匹

海軍公報 第三千五十四號 大正十一年十二月十三日 (附表一枚、部内限一頁) 一一二

0676

海軍公報附錄

大正十一年十二月十三日(水)
海軍大臣官房

大正十二年海軍生徒採用試驗日割

試驗地	志願者數		身體檢查(影線ノ日)		學術試驗	
	八	五	一	月	一	二月
札	八	五				
青	五	三				
盛	三	二				
仙	四	三				
山	三	二				
水	〇	〇				
新	〇	〇				
長	〇	〇				
東	三	二				
千	四	三				
宇	三	二				
前	九	八				
橫	四	三				
靜	二	一				
名	四	三				
金	五	四				
和	四	三				
新	〇	〇				
京	六	五				
松	六	五				
大	六	五				
高	〇	〇				
岡	七	六				
高	〇	〇				
吳	七	六				
山	五	四				
廣	五	四				
福	五	四				
大	六	五				
松	二	一				
佐	四	三				
佐	七	六				
熊	五	四				
鹿	五	四				
宮	〇	〇				

0677

海軍公報

第三千五十五號

大正十一年十二月十四日(木)

海軍大臣官房

○令達

官房第四一二二號

左記ニ依リ大正十二年十二月海軍大學校甲種學生ヲ採用ス
入學試験ハ同年四月下旬施行ノ豫定

配

一、選拔表到達期 大正十二年三月三十一日

二、候補者

(イ) 海上勤務計算最終期 大正十二年三月三十一日

日

(ロ) 海軍大尉ニ任セラレタル後ノ經過年數計算最終期 大正十二年三月三十一日

(ハ) 選拔ノ際學生タラサル者

右告達ス

大正十一年十二月十四日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

附記

海軍大學校規則第十六條但書ニ依リ獨、佛國語和譯ノ受験希望者アルトキハ選拔表ニ之ヲ明記スルト共ニ大正十二年二月末日迄ニ到達スル機所轉長ハ直接海軍教育本部長ニ通知スヘシ

官房第四一二二號ノ二

左記ニ依リ大正十二年十二月海軍大學校航海學生、海軍砲術學校高等科學生、海軍水雷學校高等科學生ヲ採用ス

考試ハ同年四月下旬施行ノ豫定其ノ規格次ノ如シ

一、雜問 初級將校トシテ心得ヘキ實務上及學術上ノ事項

二、英文和譯 海軍兵學校修業程度但シ辭書ヲ用ウルコトヲ得

記

一、候補者名簿到達期 大正十二年三月三十一日

二、候補者

海軍公報 第三千五十五號 大正十一年十二月十四日

0678

(イ) 大正七年十二月一日ヨリ同十年十二月一日迄ノ間ニ於テ海軍中尉ニ任セラレタル者
 (ロ) 選抜ノ際學生タラサル者
 (ハ) 同時ニ海軍大學校甲種學生候補者トシテ選抜セラル者

右告達ス
 大正十一年十二月十四日
 海軍大臣 男爵 加藤友三郎

官房第四一二二號ノ三
 左記ニ依リ大正十二年十二月海軍大學校機關學生ヲ採用ス
 入學試験ハ同年四月下旬施行ノ豫定

記
 一、選抜表到達期 大正十二年三月三十一日
 二、候補者
 (イ) 大正八年以後ニ於テ海軍機關大尉ニ任セラレタル者
 (ロ) 大正八年及同九年ニ於テ海軍機關中尉ニ任セラレタル者
 (ハ) 選抜ノ際學生タラサル者

右告達ス
 大正十一年十二月十四日
 海軍大臣 男爵 加藤友三郎

官房第四一二二號ノ四
 左記ニ依リ大正十二年十二月海軍軍醫學校高等科學生ヲ採用ス

記
 一、選抜表到達期 大正十二年三月三十一日
 二、候補者
 (イ) 大正六年十二月一日ヨリ同九年十二月一日迄ノ間ニ於テ海軍軍醫大尉ニ任セラレタル者
 (ロ) 選抜ノ際學生タラサル者

右告達ス
 大正十一年十二月十四日
 海軍大臣 男爵 加藤友三郎

官房第四一二二號ノ五
 左記ニ依リ大正十二年十二月海軍經理學校高等科學生ヲ採用ス

記
 一、選抜表到達期 大正十二年三月三十一日
 二、候補者
 (イ) 海軍主計大尉ニ任セラレタル後ノ經過年數計算最終期 大正十二年三月三十一日
 (ロ) 選抜ノ際學生タラサル者

0679

右告達ス

大正十一年十二月十四日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

官房第四一二二號ノ六

左記ニ依リ大正十二年十二月海軍軍醫學校選科學生ヲ採用ス

入學試験ハ大正十二年六月上旬施行ノ豫定

記

一、志願書到達期(志願書ニハ試験ヲ受クヘキ外國語名ノ記入ヲ要ス) 大正十二年三月三十一日

二、候補者

海軍軍醫大尉、海軍藥劑大尉ニ任セラレタル後ノ經過年數計算最終期 大正十二年三月三十一日

右告達ス

大正十一年十二月十四日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

官房第四一二二號ノ七

左記ニ依リ大正十二年十二月海軍大學校選科學生(帝國大學ニ委託修學セシムヘキ者)ヲ採用ス

考試ハ同年六月上旬施行ノ豫定其ノ規格次ノ如シ

一、初等微積分學(教育學志願ノ者ニハ之ヲ課セス) 二、英文和譯(辭書ヲ用ツルコトヲ得)

記

一、志願書到達期 大正十二年三月三十一日

二、候補者

兵科及機關科中尉又ハ大正九年十二月以後任官ノ兵科及機關科大尉ニシテ左記科目ヲ專修スヘキ者

火藥學

彈道學

兵器學

電氣工學

冶金學

應用化學

機械工學

航空學

教育學

兵科

兵科、機關科

機關科

兵科

兵科、機關科

右告達ス

大正十一年十二月十四日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

官房第四一二二號ノ八

海軍公報 第三千五百五號 大正十一年十二月十四日

一一一五

0680

左記ニ依リ大正十二年十一月海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校選修學生ヲ採用ス

記

一、候補者人名及其ノ所轄ヲ學校長ニ通知期

大正十二年三月三十一日

二、勤務日數最終計算期

大正十二年三月三十一日

三、學術試驗施行期

大正十二年四月下旬

四、學術試驗課目及程度

國語 (中學校第二學年修了程度)

作文 (記事文)

算術 (求積ヲ除ク)

代數 (整數式四則迄)

英語 (中學校第一學年程度ノ簡單ナル單語及單文譯解)

五、候補名簿及選拔表進達期 大正十二年七月三十一日

右告達ス

大正十一年十二月十四日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

○訓令

海軍軍醫少將 宮尾 信治

(各通)

海軍機關大佐 曾山 芳雄
海軍軍醫少佐 丸橋 啓造
海軍主計大佐 福田 庫文司
海軍主計中佐 曾根 昌一
自今滯在地ヲ東京ニ指定ス(註明海軍大臣)

○辭令

○大正十一年十二月十三日

任海軍豫備一等兵曹

高岡 安次郎

海軍船匠特務少尉 櫻庭 彌次郎

第一課勤務ヲ命ス(註明海軍省軍需局)

○艦船所在

△印ハ「ハ」セス
指定ヲ限セス

○十二月十四日午前十時調

【横須賀】 口長門、口筑摩、口滿州、口金剛、口北上、
山城、阿蘇、加賀、安藝、薩摩、榛名、鳳翔、若宮、
朝日、三笠、八雲、春日、千早、口野風、沼風、波風、
口峯風、濠風、沖風、矢風、口太刀風、帆風、夕風、
口沙風、口灘風、秋風、羽風、島風、口夕立、白濤、
三日月、夕暮、口春風、初春、初雪、口如月、神風、
初霜、櫻、吹雪、有明、浦風、夕風、時雨、口潛九、潛八、

0681

潜一四、潜一五、潜二九、潜二八、潜三〇、
 潜四〇、潜三八、潜三九、潜四七、潜四六、潜四一、
 潜五八、区雄、区鷗、区鴻、区關東、区武藏、区松江、区富士▲
 【石川島】 区葦、区騾一〇
 【浦賀】 五十鈴
 【大湊】 区椿、区櫻、区榎、区桑
 【吳】 ▲球磨、区多摩、区伊勢、区日向▲鬼怒、▲矢矧、
 韓崎、区駒橋、区土佐、区扶桑、区攝津、区伊吹、区千歲、区明石、
区追風、区疾風、区彌生、区綾波、区浦波、区磯波、区菊月、区長月、
区水無月、区卯月、区谷風、区江風、区菊、区葵、区藤、区萩、区菫、
区葛、区海風、区山風、区檜、区榎、区潜二六、区潜二五、区潜二七、
区潜一〇、区潜一一、区潜一二、区潜一三、区潜一六、
区潜一七、区潜二二、区潜二九、区潜二〇、区潜三七、
区潜二二、区潜二四、区潜三四、区潜三五、区潜三六、区潜四四、
区潜五一、区早鞆、区大和▲、区能登、区呂、区膠州、区劍崎
 【大 阪】 区騾一六
 【神 戶】 区鵜、区潜四、区潜五七、区潜六八、区隱戸
 【三津濱】 天龍
 【佐世保】 ▶龍田、区陸奥、▶名取、区長良、区霧島▲、区比叡、
区利根、区由良、区鞍馬、区生駒、区肥前▲、区敷島、区常磐、区須磨、
区最上、区淀▲、区宇治、区柳▲、区柏▲、区杉▲、区榎、区柳、区梨▲、
区縦▲、区樞▲、区竹▲、区柿、区榆、区栗、区梅、区萩、区菱、区葦、区麥、
区蓮、区騾二、区白雪、区霞、区野分、区松風、区潜二一、
区潜一八、区潜四三、区潜四二、区潜三一、区潜四五、区潜六一、
区鷹、区鶺鴒、区雲雀、区鶴、区知床、区襟裳、区佐多

【西戸崎】 野島
 【長崎】 騾一、騾三
 【馬公】 桐、樺
 【舞鶴】 大井、木曾▲、鹿島、香取▲、平戸▲、吾妻▲、
区時津風、磯風、区天津風、区濱風、区水七二、区水七三、
区水七四、区水七五
区槻、区楠、区梅
区潜三三、区潜三一
 【鎮山】 区桂
 【釜山】 室戸
 【元山】 勝力
 【旅順】 日進
 【南洋群島】 新高
 【浦潮】 区檜、区桃
 【青島】 ▶安宅
 【上海】 嵯峨
 【漢口】 伏見
 【宜昌】 隅田
 【長沙】 鳥羽
 【重慶】 区橘
 【馬尾】 区櫻
 【厦門】 鶴見
 【タラカン】 ▶出雲、区警手、区淺間
 【古倫母】 区見
 【航海中】

海軍公報 第三千五百五號 大正十一年十二月十四日

一一一七

0682

北京東城丁香胡同三號

日本公使館附海軍武官々舎

中島 啓

二、公文書ハ封緘ヲ嚴ニシ成ルヘク書留扱トスルコト

三、郵 税 従前通り内地同様

○特務艦洲崎行動豫定變更(十二月六日 本欄参照)

地名 著 發

徳山 十二月二十日 二十四日

横須賀 一月五日

○「ペスト」發生報(十二月十三日 内務省衛生局)

大阪市

十二月十一日南區瓦屋町一番町二頭、四番町二頭、三番町四頭、高津署部内一頭、谷町六丁目一頭、松屋町一頭。計十一頭有菌鼠ト決定

本月七日及九日發生ノ疑似症各一名眞症ト決定

高知縣

本月十二日高知市農人町ニテ一頭有菌鼠發見

尻矢(七日「タラカン」發馬公へ)
 石廊(九日吳發「タラカン」へ)
 洲崎(十日徳山發「タラカン」へ)
 大泊(十一日小樽發亞港へ)
 青島(十一日横須賀發吳へ)
 高崎(十一日横須賀發大湊へ)
 對馬(十二日佐世保發青島へ)
 野間(十三日吳發「タラカン」へ)
 神威(十三日徳山發横須賀へ)

○雜 款

○司令驅逐艦變更
 第二十五驅逐隊司令ハ昨十三日司令驅逐艦ヲ樞ヨリ梨子變更セリ

○郵便物發送上ノ注意
 今同在支日本郵便局ノ撤廢ト共ニ當地ニ於ケル郵便事務ハ來ル十二月末日限リ支那局扱ニ移サルコトト相成候ニ付ラハ本職宛書類ニ就テハ左ノ件々特ニ御注意相煩度

支那在勤帝國公使館附武官 中島 啓

(部内限二頁)

海軍公報

第三千五十六號

大正十一年十二月十五日
海軍大臣官房

○令 達

官房第四一三九號

大正十一年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十一年十二月十五日

海軍大臣男爵 加藤友三郎

歳出臨時部

款	項	目	節	解 疏	會計科目 電信路費
恩給事務 取扱費	恩給事務 取扱費	(事務費)	旅費		ヤノカ

○通 牒

官房第四一四〇號

大正十一年十二月十五日

海軍省副官 藤田 尙 徳

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀)殿

海軍公報 第三千五十六號

大正十一年十二月十五日

汽船「トロール」漁業許可ノ件 本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局ヨリ通知アリタリ 右通牒ス	記	許 可 番 號	第 八 七 號	住 所	東京市日本橋區本町四丁目九番地	氏 名 又 ハ 名 稱	日本トロール株式會社	船 名	遼 萊 丸	操 業 區 域	東海及黄海	漁獲物陸揚港	下關、博多、長崎	許 可 期 間	許可ノ日ヨリ拾箇年	制 限 又 ハ 條 件	一、朝鮮總督府及臺灣總督府令ノ定ムル「トロール」漁業ノ禁止區域ハ之ヲ遵守スヘシ 一、「トロール」漁業監視ノ乘組ヲ命ジタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
--	---	---------	---------	-----	-----------------	-------------	------------	-----	-------	---------	-------	--------	----------	---------	-----------	-------------	---

一一一九

0684

許可年月日 大正十一年十二月十一日

○ 辭令

歸朝ヲ命ス(註海軍省) 海軍技手 大比良 信雄
歸朝ヲ命ス(註海軍省) 海軍技手 遠藤 進

○ 艦船所在

指定ヲ要セス

○十二月十五日午前十時調

【横須賀】 口長門、口筑摩、瀨州、口金剛、口北上、山城、阿蘇、加賀、安藝、薩摩、榛名、鳳翔、若宮、朝日、三笠、八雲、春日、千早、口野風、沼風、波風、口峯風、澤風、沖風、矢風、口太刀風、帆風、夕風、沙風、口灘風、秋風、羽風、島風、口夕立、自露、三日月、夕暮、口春風、初春、初雪、口如月、神風、初霜、響、吹雪、有明、浦風、夕風、時雨、口潛九、潛八、口潛一四、潛一五、口潛二九、潛二八、潛三〇、口潛四〇、潛三八、潛三九、口潛四七、潛四六、潛四一、潛五八、口雉、鷗、鴻、關東、武藏、松江、富士

【石川島】 董、驅一〇
【浦賀】 五十鈴
【大湊】 口椿、櫻、楨、桑、高崎

【吳】 口球磨、多摩、伊勢、日向、鬼怒、口矢矧、韓崎、天龍、土佐、扶桑、攝津、伊吹、千歲、明石、口追風、疾風、彌生、綾波、口浦波、磯波、菊月、長月、水無月、卯月、口谷風、江風、菊、葵、口藤、菘、蕩、口海風、山風、楢、榎、口潛二六、潛二五、潛二七、口潛一〇、潛一一、潛一二、口潛二三、潛二四、潛二六、口潛一七、口潛二二、潛一九、潛二〇、潛二一、口潛三四、潛三五、潛三六、潛四四、潛五一、早鞆、大和、能登呂、膠州、青島

【大坂】

驅一六

【神戶】

驅四、潛五七、潛六八、隱戶

【新湊】

駒橋、口潛三七、潛二四

【德山】

劍崎

【佐世保】

口龍田、陸奥、口名取、長良、霧島、口比叡、利根、由良、鞍馬、生駒、肥前、敷島、常磐、須磨、最上、淀、宇治、口神、口相、口杉、口榎、口柳、口梨、口榎、口竹、口柿、楡、栗、梅、口萩、口菱、口蓼、口蓬、驅二、口白雪、霞、野分、松風、楠、口潛二一、口潛一八、口潛四三、潛四二、潛三一、潛四五、潛六二、口鷲、鶉、雲雀、鶴、知床、襟裳、佐多

【西戶崎】

野島

【長崎】

驅一、驅三

【馬公】

桐、樺、尻矢

【舞鶴】

大井、木曾、鹿島、香取、平戸、吾妻、口時津風、磯風、天津風、濱風、水七二、水七三、

水七四、水七五、
 鎮海、元山、南洋群島、浦潮、青島、上海、漢口、宜昌、長沙、重慶、馬尾、廈門、古倫母、
 石廊(九日吳發「タラカン」へ)、
 洲崎(十日德山發「タラカン」へ)、
 大泊(十一日小樽發亞港へ)、
 石若葉、朝風、潮、子日(十三日鎮海發旅順へ)、
 野間(十三日吳發「タラカン」へ)、
 神威(十三日德山發橫須賀へ)、
 室戸(十四日旅順發佐世保へ)、

海軍公報 第三千五百六十六號 大正十一年十二月十五日

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

軍艦對馬宛

當分ノ間

軍艦天龍宛

十二月二十日迄到著見込ノモノハ 德 山 其ノ後ハ 吳

門司郵便局氣付

○ 義捐金、弔慰金

新高殉職者義捐金並弔慰金ハ本年十一月末日迄ニ左記金額ヲ接受致候處尙部外ヨリ弔慰金ヲ寄附セラルル尙有之候ニ付差當リ殉職者遺族ニ各金二百圓宛送付セリ

記

一金壹萬六千參百拾四圓九拾八錢 部内義捐金
 一金五萬六百五拾壹圓八拾七錢 部外弔慰金
 合計金六萬六千九百六拾六圓八拾五錢也
 新高殉職者義捐金募集發企人

○ 「ベスト」發生報 (十二月十四日 内務省衛生局)

大阪市 本月十二日南區瓦屋町一名疑似症發生、本月六日發

三三二

0686

生ノ患者真猛ト決定、死屋町二番町一頭、三番町三頭、四番町一頭、東横堀河岸ニテ收得セルモノ一頭、高津署買収ノモノ三頭計九頭有菌鼠ト決定

高知縣 本月十二日幡多郡清松村松尾ニ疑似症一名發生、高知市農人町ニ有菌鼠三頭發見

○正誤

昨十四日令達官房第四一二二號ノ三中(ロ)ノ下「大正八年及同九年」ハ「大正九年」ノ誤

(部内限二頁)

0687